

アジア発 グローバル人材を 育てるために 社会科教育は 何ができるか？

主催：愛知教育大学社会科教育学会

どなたでも
参加できます！



土屋 武志
名誉教授

2025.3.8 (Sat)
14:30~17:00
@愛知教育大学 教育未来館3F
(多目的ホール)

参加費
無料

参加登録は
こちら！



セミナーに関する
動画はこちら！



協力：日本OECD共同研究

タイムスケジュール

- 12:00 受付開始
- 12:30 院生(本年度修了生)による研究発表
- 14:00 総会
- 14:30 土屋武志先生退官記念セミナー
「アジア発グローバル人材を育てるために社会科教育は何ができるか?」
(1) シンポジウム (シンポジストによる問題提起)
(2) ワークショップ (参加者全員による対話)
(3) まとめ・諸連絡 (白井克尚先生/愛知東邦大学)
- 17:00 解散

シンポジスト紹介

愛知教育大学 名誉教授

土屋 武志 (Takeshi Tsuchiya)

提案:「歴史教育とアジア(仮)」

アジアにおいて国民国家を前提とした共通の歴史認識は難しいとしても、「解釈」や「対話」は可能であるという考え方から「解釈型歴史学習」を提唱している。

スラバヤ大学(インドネシア) 教授

ナスティイオン (Nasution)

提案:「インドネシアの社会科教育(仮)」

社会科教育を研究しており、特に歴史学習における思考力育成教材の開発に取り組んでいる。現在、ISSA(International Social Studies Association)の副会長も務めている。

大阪公立大学 准教授

西尾 圭一郎 (Keiichiro Nishio)

提案:「これからの中東と人材(仮)」

国際金融、特にアジアを中心に研究している。その他にも15年間金融教育に携わっている。金融システムや金融教育の研究成果は、国内外に留まらずアジアを中心に発信されている。

一般社団法人DME.tv 代表理事

牧野 佳奈子 (Kanako Makino)

提案:「社会における外国ルーツの市民との共生(仮)」

外国にルーツをもつ若者の支援活動に取り組んでいる。その他にも、日本人の高校生や大学生に多文化共生のレクチャーをしたり、インターンシップ等を受け入れたりしている。

半田市立青山中学校 教諭

金 成智 (Sonji Kim)

提案:「日韓アイデンティティとライフヒストリー(仮)」

在日三世。令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞。現在も継続して、愛知県内の中学校において、社会科教育や道徳教育の授業実践に取り組んでいる。

お問い合わせはこちら!

aikyo.socialstudys.m@gmail.com

※公式Instagram(@aikyo.socialstudys.m)のDMでも受け付けています。

※セミナーのみの参加もできます。なお、セミナー終了後の懇親会はありません。